



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月30日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774) 44-4923  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,387	16.8	109	68.7	115	139.3	75	177.8
2019年3月期第1四半期	1,188	4.6	65	5.9	48	△28.1	27	△39.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	4.20	—
2019年3月期第1四半期	1.46	—

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,507	6,786	79.8
2019年3月期	9,401	7,009	74.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,786百万円 2019年3月期 7,009百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	4.4	1,238	△11.4	1,260	△10.0	864	△10.5	48.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	20,449,836株	2019年3月期	20,449,836株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,542,397株	2019年3月期	2,538,769株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	17,908,891株	2019年3月期1Q	18,518,662株

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦を背景とした中国景気の減速などが輸出の停滞を招き、不安定な情勢で推移しました。

美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「美容室とともに女性を髪から美しくする」というコーポレート・スローガンのもと、「カウンセリング&ビューティアー」という施策を展開し、美容室でのワンランク上のカウンセリングを通じて、来店客に対してヘアケアの重要性を提案することで、本当に美しくなるための意識改革を促しました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントについては、「女性は髪からもっと美しくなれる」という考えに基づき、主力ブランドである「コタ アイ ケア」の美容室での販売を推進し、多くの『女性のキレイ』を髪から応援してまいりました。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」及び2019年5月に発売した新製品「コタトリート プレミアク」を中心としたトイレタリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。引き続き原価管理の見直し等を行っていることに加え、粗利率の高いトイレタリー製品の販売が好調であったことから、売上原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,387百万円(前年同四半期比16.8%増)、営業利益は109百万円(前年同四半期比68.7%増)、経常利益は115百万円(前年同四半期比139.3%増)、四半期純利益は75百万円(前年同四半期比177.8%増)となりました。

なお、当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	788	66.4	1,016	73.3	228	28.9
整髪料	206	17.4	202	14.6	△3	△1.9
カラー剤	81	6.9	61	4.5	△19	△24.3
育毛剤	45	3.8	43	3.1	△1	△3.6
パーマ剤	31	2.6	26	1.9	△4	△15.2
その他	35	2.9	36	2.6	0	2.7
合計	1,188	100.0	1,387	100.0	199	16.8

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

当第1四半期会計期間の総資産は、前事業年度から894百万円減少し、8,507百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が792百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期会計期間の負債は、前事業年度から672百万円減少し、1,720百万円となりました。

主な要因としては、未払金が340百万円、未払法人税等が400百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期会計期間の純資産は、前事業年度から222百万円減少し、6,786百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が217百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、79.8%（前事業年度74.5%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、特に第1四半期における利益額の構成比率は小さくなっております。当第1四半期累計期間においては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」及び2019年5月に発売した新製品「コタトリート プレミーク」が好調に推移し、また、トイレタリー製品は粗利率も高いことから、各利益は前年同四半期と比べ大幅な増益率となりました。今後も順調に推移することが見込まれますが、下半期のウエイトを勘案した結果、現時点において、2019年5月8日に公表いたしました通期の業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,992,698	3,200,050
受取手形及び売掛金	1,288,160	1,033,852
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	535,322	655,186
仕掛品	17,669	32,179
原材料及び貯蔵品	205,204	283,524
その他	26,109	47,154
貸倒引当金	△32	△26
流動資産合計	6,115,132	5,301,921
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,095,694	1,077,857
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	155,874	140,192
有形固定資産合計	2,410,474	2,376,956
無形固定資産	145,496	136,908
投資その他の資産	730,851	691,930
固定資産合計	3,286,823	3,205,795
資産合計	9,401,956	8,507,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,259	163,971
未払金	510,671	169,749
未払法人税等	409,000	8,510
賞与引当金	208,243	113,213
役員賞与引当金	—	6,824
販売奨励引当金	46,391	59,048
その他	237,719	333,488
流動負債合計	1,563,284	854,805
固定負債		
退職給付引当金	129,191	144,042
役員退職慰労引当金	523,742	539,026
資産除去債務	41,644	41,669
長期預り保証金	135,033	141,328
固定負債合計	829,610	866,066
負債合計	2,392,895	1,720,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,854	330,888
利益剰余金	8,557,129	8,339,318
自己株式	△2,267,619	△2,272,196
株主資本合計	7,008,163	6,785,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	896	1,034
評価・換算差額等合計	896	1,034
純資産合計	7,009,060	6,786,844
負債純資産合計	9,401,956	8,507,717

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,188,530	1,387,622
売上原価	297,663	326,010
売上総利益	890,866	1,061,612
販売費及び一般管理費	825,773	951,802
営業利益	65,093	109,809
営業外収益		
受取利息	700	743
受取配当金	984	811
受取賃貸料	1,614	1,536
業務受託料	2,400	2,400
その他	1,123	1,555
営業外収益合計	6,823	7,046
営業外費用		
賃貸費用	365	333
支払手数料	22,997	—
その他	139	655
営業外費用合計	23,502	989
経常利益	48,413	115,867
税引前四半期純利益	48,413	115,867
法人税、住民税及び事業税	970	970
法人税等調整額	20,339	39,616
法人税等合計	21,310	40,587
四半期純利益	27,103	75,279

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。